

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月12日

東

上場会社名 武蔵野興業株式会社
 コード番号 9635

上場取引所

URL <https://www.musashino-k.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中野 公一 (TEL) 03-3352-1439

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,006	7.6	42	603.9	47	—	39	—
2024年3月期第3四半期	935	△1.5	6	240.3	3	—	△3	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 39百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	37.48	—
2024年3月期第3四半期	△3.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,015	3,621	60.2
2024年3月期	5,978	3,582	59.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,621百万円 2024年3月期 3,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,350	5.3	55	164.5	65	247.6	50	971.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	1,050,000株	2024年3月期	1,050,000株
2025年3月期3Q	3,757株	2024年3月期	3,624株
2025年3月期3Q	1,046,319株	2024年3月期3Q	1,046,377株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項については、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、所得環境の改善やインバウンド消費増加など、景気を後押しする明るい材料が見られる一方、円安や資源価格の高騰に伴う物価上昇が個人消費や企業業績にも影響を及ぼすなど、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業において業績の向上に努めてまいりました。その結果、全体として売上高は10億6百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は4千2百万円（前年同期比603.9%増）、経常利益は4千7百万円（前年同期比1,420.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3千9百万円（前年同期は3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

(映画事業部門)

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、9月公開の『SUPER HAPPY FOREVER』と、11月公開の『ロボット・ドリームズ』が好調に推移しました。「シネマカリテ」では、9月公開の『ナミビアの砂漠』が約4ヶ月に渡るロングランとなり、また12月公開の『I Like Movies アイ・ライク・ムービーズ』も好調に推移しました。その結果、両館ともに昨年を上回る成績となりました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社から新しい配給作品は無かったものの、『認知症と生きる希望の処方箋』（邦画）の舞台挨拶付きの上映が各地で行われました。

その結果、部門全体の売上高は3億4千7百万円（前年同期比18.3%増）、セグメント損失は2千5百万円（前年同期は4千1百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産事業部門)

不動産賃貸部門におきましては、主要テナントビルの設備更新など維持管理費用は継続的に発生する一方、テナント収入が安定的に推移することで、不動産賃貸部門全体としては堅調に推移しました。不動産販売部門におきましては、引き続き仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は4億3千7百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は2億5千1百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

(自動車教習事業部門)

自動車教習事業部門におきましては、当該期間、大型自動車・中型自動車・牽引車教習の新規入所者数はほぼ前年並みであったものの、普通自動車・自動二輪車の新規入所者数は前年を上回りました。また、既存入所者の教習消化や注力している高齢者講習の実施数も堅調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は2億1千万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は1千6百万円（前年同期比93.4%増）となりました。

(商事事業部門)

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、営業成績は引き続きコロナ以前の水準を回復していますが、急増した前年の水準を若干下回りました。その結果、部門全体の売上高は5百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益は5百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

(その他)

主として自販機手数料であります。部門全体の売上高は5百万円(前年同期比26.3%増)、セグメント利益は5百万円(前年同期比27.4%増)となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期累計期間における総資産は、現金及び預金など流動資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3千7百万円増の60億1千5百万円となりました。

(負債)

負債合計は、有利子負債の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ1百万円減の23億9千4百万円となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3千9百万円増の36億2千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2025年3月期の通期連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日(2025年2月12日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,322	826,206
売掛金	36,108	60,062
棚卸資産	1,865	1,145
その他	77,855	44,583
流動資産合計	874,153	931,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	473,203	436,505
機械装置及び運搬具（純額）	9,471	18,077
工具、器具及び備品（純額）	20,910	20,624
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産（純額）	7,659	6,285
有形固定資産合計	4,415,412	4,385,660
無形固定資産		
借地権	73,315	73,315
その他	9,644	13,074
無形固定資産合計	82,959	86,389
投資その他の資産		
投資有価証券	434,691	439,339
繰延税金資産	49,011	49,092
敷金及び保証金	88,646	88,646
その他	37,337	39,032
貸倒引当金	△4,113	△4,194
投資その他の資産合計	605,572	611,916
固定資産合計	5,103,945	5,083,966
資産合計	5,978,098	6,015,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,552	79,037
短期借入金	52,308	49,912
リース債務	1,832	1,832
未払法人税等	6,104	9,519
賞与引当金	14,547	5,968
その他	193,328	187,759
流動負債合計	331,673	334,030
固定負債		
長期借入金	285,056	277,807
リース債務	5,826	4,452
退職給付に係る負債	54,850	59,756
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	618,369	618,369
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,860	8,912
固定負債合計	2,064,066	2,060,402
負債合計	2,395,739	2,394,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	131,012	170,226
自己株式	△8,721	△9,006
株主資本合計	1,126,791	1,165,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,483	3,727
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,455,567	2,455,811
純資産合計	3,582,358	3,621,532
負債純資産合計	5,978,098	6,015,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	935,171	1,006,066
売上原価	470,078	510,199
売上総利益	465,092	495,866
販売費及び一般管理費	459,066	453,449
営業利益	6,026	42,417
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,228	2,400
持分法による投資利益	-	4,296
その他	1,222	1,101
営業外収益合計	2,450	7,798
営業外費用		
支払利息	1,492	2,102
持分法による投資損失	3,008	-
その他	600	158
営業外費用合計	5,100	2,260
経常利益	3,375	47,955
特別損失		
環境対策費	1,799	-
特別損失合計	1,799	-
税金等調整前四半期純利益	1,576	47,955
法人税、住民税及び事業税	2,364	8,910
法人税等調整額	2,621	△168
法人税等合計	4,986	8,741
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,410	39,213
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,410	39,213

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,410	39,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	327	244
その他の包括利益合計	327	244
四半期包括利益	△3,082	39,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,082	39,458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針台28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	293,462	32,216	200,400	5,739	531,818	4,642	536,461
その他の収益	—	398,709	—	—	398,709	—	398,709
外部顧客への売上高	293,462	430,926	200,400	5,739	930,528	4,642	935,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,700	—	—	2,700	—	2,700
計	293,462	433,626	200,400	5,739	933,228	4,642	937,871
セグメント利益又は損失(△)	△41,030	245,791	8,695	5,739	219,196	4,467	223,663

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	219,196
「その他」の区分の利益	4,467
セグメント間取引消去	10,164
全社費用(注)	△227,801
四半期連結損益計算書の営業利益	6,026

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	347,127	36,325	210,313	5,579	599,346	5,864	605,211
その他の収益	—	400,854	—	—	400,854	—	400,854
外部顧客への売上高	347,127	437,180	210,313	5,579	1,000,201	5,864	1,006,066
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,700	—	—	2,700	—	2,700
計	347,127	439,880	210,313	5,579	1,002,901	5,864	1,008,766
セグメント利益又は損失(△)	△25,312	251,151	16,820	5,579	248,239	5,692	253,932

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,239
「その他」の区分の利益	5,692
セグメント間取引消去	14,030
全社費用(注)	△225,545
四半期連結損益計算書の営業利益	42,417

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	49,453千円	51,074千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。